

令和5年度盛岡第二高等学校第2回学校運営協議会 議事録

令和6年2月21日(水)

14:30~16:05

場所:盛岡二高 会議室

進行:副校長 記録:総務課

○出席者 学校運営協議会委員 6名
学校職員 9名

○日程 14:20:受付 14:30:学校運営協議会(～16:05)

(1) 開会の言葉 (進行:副校長)

(2) 会長挨拶 (PTA会長)

5月にコロナが5類に移行し、様々な活動の規制が解除され、それに伴って色々な活動が広く行われた。特に一般公開された二高祭では受付が混みあう場面があり、地域の皆さんから注目されていると感じた。

学習面ではICTの活用や先生方の熱心なご指導で、生徒たちは元気にやる気を持って生活している。部活動の面でも陸上・体操・なぎなた・卓球・箏曲・書道・文学研究・視聴覚委員会の全国・東北での活躍が目立った。

日頃の先生方、地域の皆様のご指導に感謝している。生徒がそれぞれの道を歩んでいけるよう引き続きご指導いただきたい。

(3) 校長挨拶 (校長)

日頃より本校教育活動に対し、御支援・御協力・御指導いただき心より感謝している。今年度も部活動・委員会では多くの活躍がみられた。

今年度より、美について様々な側面から内面・外面を磨く探究活動として「美プロジェクト・サマー」を三日間実施した。今後もこのような取り組みを実施し魅力ある高校を目指したい。

本日は限られた時間であるが、皆様方から忌憚のない御意見をいただきたい。

(4) 令和5年度学校概況説明

ア 学校経営計画について(校長)

- ・スクールポリシーの(2)については、今年度より美に関する探究活動を先生方がいろいろ工夫を凝らしながら行った。
- ・今年度の重点目標5項目中4項目において達成指標を超える結果であった。1項目については1%足りない結果であったが、昨年度に比べると5%UPしている。
- ・取組方針の「ICTの活用」については、今までは教師が授業の中でどのように活用するかが問われていたが、今後は来年度からのBYODに向けて、生徒にどのように活用させるか意識して教育活動を展開しなければならない。

イ 学校評価アンケート結果について（副校長）

【分析1】全体的な傾向について

肯定的な評価で75%以上の項目が多い。（生徒 17/19 保護者 16/18 教員 19/20）。生徒評価では15項目で80%を超えた。肯定的評価で65%未満の項目はない。最も肯定的な評価が低い項目は、「5応用力のつく授業実践」（教員67%）である。保護者の評価は、昨年度と比較すると、18項目中13項目でポイントが増加し、3項目で減少した。

【分析2】評価が高かった項目、評価が改善した項目について

「7生徒会活動や部活動の活発さ」（生徒95%、保護者92%、教員94%）と「15安全・清潔な学習環境の保持」（生徒95%、保護者93%、教員100%）において三者から高い評価を得た。

【分析3】評価が低かった項目、評価が分かれた項目について

「4家庭学習・課題の点検」（生徒80%、保護者68%、教員89%）

「5応用力のつく授業の実践」（生徒74%、教員67%）

来年度も同じ時期に実施予定。今年度以上の評価を得られるよう職員一丸となって取り組んでいきたい。

ウ 各課取組状況について（各課主任）

【総務課】

1 庶務・行事等の活動を円滑に運営する

- ・今年度より、入学式、卒業式等コロナ前に戻す形で実施している。学校に来る機会が増えたためか、学校へ行こう週間の来場者は昨年度に比べ減少した。

2 P T A（白梅振興会）活動の活性化をはかる

- ・P T A活動では二高祭での餅まきとパン販売、研修旅行を復活させた。来年度はP T A総会をはじめとするP T A各行事への出席者を増やすよう工夫したい。

3 創立130周年に向け、資料を整備する

- ・来年度から少しずつ準備を始めたいと考えている。

【教務課】

1 生徒の学力向上

- ・今年度は4月に面談月間を設定して担任がクラス全員と早期に面談を行った。早期に個別の状況を把握することで、その後の指導がスムーズに行われた。継続して実施したい。

- ・来年度より45分授業とし、生徒が放課後の時間を有効に活用できるようにしたい。

2 教員の指導力向上

- ・I C Tについては、授業においてForms、Teams、PowerPointなどを活用している。今後は授業の中で生徒にどのように使用させるかさらに研究していきたい。

【生徒指導課】

- 1 生徒規律の確立
 - ・ここ2, 3年で服装規定の見直しを進め、時代の流れに合わせて緩和している。
 - ・今年度特別指導は0件。
- 2 生徒会活動・部活動
 - ・体育祭、二高祭、ハンドボール全校応援をコロナ前に戻した形で実施できた。
- 3 安全指導
 - ・今年度の交通事故6件
 - ・自転車通学の条件にヘルメットの着用を入れるかについては現在検討中。

【進路指導課】

- 1 進路指導の涵養
 - ・総合的な探究の時間で大学模擬授業、美・プロジェクトを実施した。今後も継続実施予定。
- 2 総合型・学校推薦型選抜指導の充実
 - ・学校推薦型選抜出願予定生徒の指導体制を早めに構築する。

【保健厚生課】

- 1 健康・安全に関する理解を深め、自主的な健康管理の習慣を身につけさせる
 - ・感染予防として今年度は身体計測を学年ごとに実施した。
 - ・歯周病のない生徒、虫歯のない生徒の表彰を今年度初めて行った。
- 2 校内の清掃美化に努め、安全で衛生的な生活習慣を身につけさせる
 - ・加湿器をすべて新しいものに替えた。

教育相談課、図書課、情報・研究課については資料のみ。

【質問・意見】

委員： 携帯使用違反が昨年度より増えているがどのような違反か。

生徒指導課： 電源を OFF にするのを忘れていた、わかっているけど使ってしまったというケースがあった。

委員： 中学校によってICTの活用に差があると思うが、新入生にタブレット等を使用させる時、格差を感じることはあるか。

教務課： 中学校での経験の差というよりは、個々の能力の差ではないか。それをうまく指導していくにはどうすればいいか研究していかなければと考える。

委員： 部活動の未登録が二高は少ないが、やらせたいという先生方の意識からなのか。

生徒指導課： 部活動の数が多く、活動日も週1日～毎日と様々である。自分の能力に応じて選べるのが要因ではないか。

委員： 大学の入試方法も様々である。指定校推薦については、高校によって異なるので、中学生を送り出す時に大学への入り方指導をした方がいいか。

進路指導課：特に必要ないのではないかと。高校入学前に指定校の公表はしていない。また、指定校は毎年変化する。指定校推薦を含めた大学受験については、1年生の進路講演会などで説明している。

委員： 部活動の未登録者数は少ない方だと思う。未登録者の放課後の使い方について、学校で把握していれば教えてほしい。

生徒指導課：応援委員会や視聴覚委員会に所属したり、外部団体に所属して活動したり、目的意識があって未登録の生徒もいる。

(5) 意見交換

委員： P T Aの立場としては、P T A活動への参加が少ないと感じている。コロナの規制が解除されたので、積極的に参加してほしい。参加することによって学校での子どもの様子が分かる。そこから子どもの進路にも興味を持ってほしい。共働き家庭が増えた中で、学校にお任せというのが現状かと思うが、子どもの進路と向き合う体制を各家庭で作れればと思う。

委員： 学校評価については全体的に高評価であるが、先生方の肯定的な評価 100%に対して生徒の評価が 80%の項目がある。少し開きがある。近づけるためにどのようにすればよいか検討が必要ではないか。

今年度から始めた美の講座は、先生方がこうなってほしい、生徒がこうなりたいと思う姿になるように3年間進めてほしい。

委員： コロナを経て学校行事の見直しがあったと思うが、生徒が主体的に活動できる行事は生徒の才能の育成にもつながるので、なくさないでほしい。

委員： 学校へ行こう週間で中学生は高校生の雰囲気味わえたのではないかと。二高は120年の伝統校。地域の注目度も高い。地元の中学生にも多く入学してほしい。

委員： 高校生活3年間はその後の人生を左右する大事な時間。実体験に勝るものはない。外部のセミナーやボランティアなどいろいろ行われているので、参加させてほしい。

コロナ前の二高を知らない生徒・先生方が多くなってきた。もう一度二高の伝統・文化を紐解いて過去を知ったうえで、今の時代に合った文化を生み出してほしい。

委員： 二高の様子が分かる素晴らしい資料を準備していただき有難い。

学校近くの交差点で交通指導をすることがあるが、上の橋方向から赤信号でも通り過ぎる車がある。信号待ちをしている生徒も多いので徐行してほしい。事故のないよう見守りたい。

(6) その他

(7) 閉会の言葉